

アジア研究委員会 報告・討論



日本外交の課題と

洞爺湖サミット

報告 猪口 孝氏 (中央大学教授)

討論 猪口 邦子氏 (衆議院議員)

金子 秀敏氏 (毎日新聞専門編集委員)

神谷 不二氏 (慶応大学名誉教授)

竹田いさみ氏 (獨協大学教授)

深海 博明氏 (東洋学園大学教授)

司会 中嶋 嶺雄氏 (国際教養大学学長・理事長)

報告の基調

G8サミットの意味と日本

猪口 孝

G8は日本が大事にしてきた国際組織の数少ない組織のひとつである。国際連合、世界銀行、国際通貨基金、世界貿易機構(その前身、関税と貿易にかんする包括的合意、ガット)などのように第2次世界大戦中に戦後体制構想のなかから生まれた組織はいまでもなく、日本が最も重視している組織群である。国際連合の安全保障理事会の常任理事国の地位獲得のために日本は猛烈なエネルギーを投入したことは日本の重視をよくあらわすものである。国連加盟国は193もあるのに、日本は特に国連指導者集団を恒常的に形成するものになっていない。世界銀行や国際通貨基金となると、欧州と米国がその最高指導者の地位を占めるようになっていく。少しおかしいのではないかと多くの人が思う。そのようなおかしな状態が続いているだけでなく、新しい事態が新たな組織を形成に向かわせた。実際、日本の外交努力を年間カレンダーで見ると、前半はG8、

後半はアセアン+スリーにかなりの継続的なエネルギーを注いでいる(河野雅治, 2008)。どちらも第2次世界大戦直後ではなく、戦後30年-50年経てから生まれた比較的新しい組織である。G8は先進民主主義国、アセアン+スリーは東アジアと東南アジアの地域の諸国家を纏める組織である。日本にとってその経済的な大きさや長期民主主義政権などからみて前者は自然だし、1976年にG5が誕生した時に日本がその創立加盟国であったことは日本にそのアイデンティティーに幾ばくかの満足と誇りを与えるものであった(Dobson, 2004)。アセアン+スリーは冷戦終焉後、地域的な集まりをより強固にしようとする動きであった。どちらも日本の世界における地位を象徴する組織である限り、日本がこれらを大事にしようとするのは当然であった。

その性格を試みるとすれば、どのようなものになるか。



洞爺湖サミットの評価をめぐって議論が進む。  
向こう右が猪口教授、その左が代表幹事の中嶋氏

くてよかったと思うんです。

そもそもG8というのは文書のない、証拠を残さない世界で、オフィシャルなもののみな口伝でやっている。各国がアン・オフィシャルに記録をつくらせている可能性はあるけれども、ないと言っている。日本は幕の内弁当型にまとめたんですね。主要旋律だけ弾いて終わりにするというよりは、その問題も重要だからと、どんどん入れていく。そういう感じでやったから、論理的整合性や盛り上がりを求めるヨーロッパやアメリカのマスメディアに受けがよいわけではないです。

竹田氏 環境サミットということでは、日本は技術的にも優位にあるし、環境、省エネ立国として評価されていると思うんです。その意味で、環境外交を推進してイニシアチブを取るといえるのは大成功で、論理的な整合性もあるし、日本のプレゼンスも明確に打ち立てられたと思う。

一方で、先ほど猪口先生がおっしゃった3Fの問題があって、これも大きな問題です。G8の歴史をたどれば、その時のホット・イシューを取り上げるといえるのが一つの課題だったわけで、そうすると今回は3Fの問題を取り上げるべきだという意見もあったわけですね。その点、環境をアジェンダにしたということと3Fの問題についてはどのようにお考えですか。

猪口(孝)氏 一つは日本の国内体制の問題で、一たん

決めたらすぐには変えられないんですね。欧米と違って、日本の場合はトップの権限も大してないから、全員が合意したラインで進むしかなくなっているわけです。だから環境を主要旋律にして、そのほかについては適宜やるということで、アフリカの国も産油国もBRIICSも来てくださいという感じになった。

また、総理は1月からそういう主題について演説してきました、それをG8の合意のほうに使っているわけですから、あまり大きな変更もできなかっただろうし、やりにくかっただろうと思いますね。

### 「目標」は夢でしかない？

深海氏 イシューごとに随分違いがあると思うんです。温暖化の問題について言えば、IPCCの第4次報告書が出て、実際に人為的に温暖化が進んでおり、これは差し迫った問題なんだと指摘している。そういう状況の中で日本は地球サミットという形でやったわけですが、私が一番びつくりしたのは、京都議定書を日本が実行できるかどうかということについて専門家の多くがマイナス6%は無理だと言っている。しかし2050年までに50%削減という目標を設定して、日本は8割減らそうというわけですね。それは例えば自動車エンジンの革新的なものができるとか、すごい技術開発ができれば可能かもしれないけれど、専門

家のほとんどは奇跡が起こらなければできないと言っている。そういう問題を、40年たつたらどうなるか分からないからというのでやっているわけです。

もう一つ奇妙なことは、今、温室効果ガスの先進国の排出割合は55%ですから、先進国が排出を0にしたとしても新興国の45%は残るんです。結局、夢が語られているだけで、現実から見ればあり得ないことが議論されているんじゃないか。

### G8は目標示すのが商売だった

猪口(孝)氏 途上国からすれば、そんな先のことを言ってもしょうがないわけですね。しかし、イギリスであれ、ドイツであれ、そのラインでG8をやってきたんだから、急にそこから離れるわけにいかないですよ。それをまとめたいからプラスだというのが私の評価なんです。現実と合っていないというはそうだけれども、そのうちにそういうスキームが崩壊することが分かれればまた変わるでしょう。

深海氏 そのうちに何とかなるでしょう、というのが現状なんですか。

猪口(孝)氏 G8というのは、目標を出して、常に夢を語るのが一つの商売だったんです。拘束力は大きくないんですから。今や自分たちの力も小さくなっていて、言っても気にしない人が半分以上いる。でも、自分の存在を否

アジア時報

九月号

アジア時報

二〇〇八年(平成二十年)

九月号

アジア調査会

これからも、ずっと、あなたと。



120  
years  
朝日生命

おかげさまで朝日生命は、創業120周年を迎えました。○(株)朝日生命

朝日生命保険相互会社 本社:〒100-8103 東京都千代田区大手町2-6-1  
お客様サービスセンター ☎0120-714-532 <http://www.asahi-life.co.jp>

定価(本体四七七円)  
五〇〇円  
送料八〇円

## The Asian Affairs Research Council

### 〈特集 洞爺湖サミット〉

#### 講演会

「北海道洞爺湖サミットにおいて日本が目指す成果」  
高村正彦

#### アジア研究委員会

「G8サミットの意味と日本」基調論稿と報告・質疑  
猪口 孝